

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	生活基盤の充実		グループ	管理グループ
基本事業名	3	安全で良質な水の安定供給		電話番号	45-5111
				内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	なし
	コード	743114			
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

上水道の無い現況の中で、安定的な生活飲用水を供給するために、小田西水道管理組合が管理している水道施設の維持管理に係る経費の補助を行っている。
 補助金交付額:100,000円
 給水戸数:24戸
 配水管延長:2,025メートル

補助金・負担金の交付先	小田西水道管理組合	補助金の対象経費	組合の運営及び活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 修理の件数		件	3	3	3	3
イ 施設点検の回数		回	366	365	365	365
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 小田西水道管理組合	小田西水道管理組合員	世帯	24	24	24	24
イ 維持管理に関する経費	管理経費	円	539,372	488,960	500,000	500,000
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 安定的な生活飲用水が供給される	安定的に供給されなかったと感じた人の数(苦情件数/供給世帯)	%	0	0	0	0
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 安全で良質な水を安定して供給できる	断水件数	件	38	53	40	40
イ						

(2)事業費			(3)事務事業の環境変化・住民意見等			
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	100,000	昭和60年4月から供用開始されたが、近年、施設の老朽化が進み、さらには組合員の高齢化に伴い維持管理が組合員だけでは困難なため、平成16年度から補助金を交付して施設の維持管理と組合員の労力の軽減を図るために開始された。		以前にも増し、施設の老朽化が進み施設の維持管理に伴う大規模な修繕については、行政で行っており、現在のところ安定的に飲用水の供給ができています。	
	補正予算額	0				
	予算合計	100,000				
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？		④ この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	100,000				
	支出合計	100,000				
			特になし。		平成14年9月の旧隼人町議会において、上水道に切替えるべきとの提案がなされたが、ガーデンシティ計画の中で上水道が整備される計画であったが、この計画が中止になり現在に至っている。	

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	小田西水道管理組合									24	100	100	100	538	540
										638	640	640	640	640	640
										84%	84%	84%	84%	84%	84%
2															
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
計										24	100	100	100	538	540
														540	540
											84%	84%	84%	84%	84%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	100
補正予算	
合計	100

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

事務事業コード	743114	事務事業名	小田西水道管理組合運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	安定的な飲料水を供給することは、安全で良質な水の供給に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	飲用水確保のために市が設置した施設を適切に管理するための経費に対し、一部補助を行うことは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	小田西水道を利用している組合員で構成している団体であるため、対象については妥当である。また、施設の維持管理を行い、安定的な飲用水の供給が必要なことから意図も妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現状では100%に近い対応ができていますが、上水道への移行により成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	維持管理が難しくなり、飲用水の確保ができなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 上水道事業
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	安定した飲用水の供給に必要な維持管理費であるため、現時点ではこれ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請書、実績報告書等を受付・審査の上、補助金交付を行うための必要最低限の人件費である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	上水道のない地域住民で組織された団体へ補助を行うため、受益者は限定されているが、必要最低限の生活飲用水を確保するための事業であり適正である。しかしながら、上水道への移行を図る必要がある。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		現在、霧島市の上水道計画に基づいて一部工事実施中である。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 霧島市の上水道計画に基づいて平成22年度一部工事着手しているがその後の工事計画において一部用地交渉が難航している。平成23年度は工事完成に向けて推進していく。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 平成23年度の工事進捗状況次第では、平成24年度においても工事完成に向けて推進していく。

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	管理グループ
基本事業名	1	農林漁業経営体への支援		電話番号	45-5111
				内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	743117				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

霧島市内の4土地改良区(十三塚原土地改良区984人・竹子土地改良区221人・宮内原土地改良区2014人・福山町土地改良区513人)に運営費補助として補助金を交付している。
 十三塚原土地改良区5,465,000円、竹子土地改良区3,515,000円、宮内原土地改良区764,000円、福山町土地改良区2,375,000円(市の活動)
 土地改良区に補助金を支出するための手続(交付申請書の受付、交付決定、実績報告書の受付、補助金交付)を行う。
 (土地改良区の活動)
 農業用施設の維持管理、賦課金の徴収
 *土地改良区とは、土地改良法に基づき設置された団体で、土地改良区内に農地を保有する農家を組員として構成されている。

補助金・負担金の交付先	土地改良区	補助金の対象経費	土地改良区の運営及び活動に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 補助金交付団体数		団体	4	4	4	4
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 土地改良区の組員	組員数	人	4,207	3,732	3,732	3,732
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 組員の賦課金が軽減される	歳入予算に対する賦課金の割合	%	28	38	38	38
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 経営体質が強化される	認定農業者数	戸	326	321	330	330
イ						

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	12,119	主に大規模な事業(圃場整備事業、かんがい事業)が導入され、維持管理の部門が必要となったため。土地改良区の整備に関しては、国・県・市及び受益者負担によって行われた。4改良区に関しては施設の規模が大きく、市保有の施設の維持管理も含めて改良区が行うため、補助金を交付することとなった。	事業の完成から年月が経ち、施設の老朽化並びに管理者の高齢化に伴い以前より管理に苦慮している。平成19年4月1日、県からの権限移譲により、土地改良区に対する指導権限が市に移譲された。	
	補正予算額				
	予算合計	12,119			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	12,119			
支出合計	12,119	受益者(区域内の農地所有者)からは、できるだけ改良区の賦課金を上げずに安定した用水が確保できるように要望されている。土地改良区からは、用水路には住宅からの排水が流込むために水質が悪化、有機農法を取り入れられない等、農作物の品質に影響があるとの意見もある。			

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	十三塚原土地改良区									984人	補助金	5,465	補助金	5,465	補助金	5,465
				○						自主財源	110,001	自主財源	110,001	自主財源	110,001	
										合計	115,466	合計	115,466	合計	115,466	
2	竹子土地改良区									221人	補助金	3,515	補助金	3,515	補助金	3,515
				○						自主財源	12,697	自主財源	12,697	自主財源	12,697	
										合計	16,212	合計	16,212	合計	16,212	
3	宮内原土地改良区									2,014人	補助金	764	補助金	764	補助金	764
								○		自主財源	22,152	自主財源	22,152	自主財源	22,152	
										合計	22,916	合計	22,916	合計	22,916	
4	福山土地改良区									513人	補助金	2,375	補助金	2,375	補助金	2,375
								○		自主財源	7,207	自主財源	7,207	自主財源	7,207	
										合計	9,582	合計	9,582	合計	9,582	
5											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
6											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
7											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
8											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
9											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
10											補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源		
										合計		合計		合計		
計										3,732人	補助金負担金合計	12,119	補助金負担金合計	12,119	補助金負担金合計	12,119
											自主財源合計	152,057	自主財源合計	152,057	自主財源合計	152,057
											自主財源率	93%	自主財源率	93%	自主財源率	93%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	12,119
補正予算	
合計	12,119

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	743117	事務事業名	土地改良区運営支援事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地改良区の円滑な運営と財政の健全化を図ることは、農業者の負担を緩和させることとなり、経営体質の強化に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	多くの農業用施設の維持管理や補修を行い、安定的に農業用水の供給を行っているとともに、地域の環境保全も担っている等、公共性の高い組織であるため、その運営に関して補助することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	全ての土地改良区組合員を対象としており対象は妥当であり、組合員の経営安定に寄与するため意図も妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	現状において、土地改良区の円滑な運営と財政の健全化が図られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	組合員(農家)の負担が増える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 土地改良区に対する支援事業は、本事業のみである。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	県内でも高い水準の賦課金であり、今の状況での運営が精一杯である。運営状況が改善されれば、削減について検討したいが、現状に於いては難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補助金申請を受付審査の上、補助金交付を行うために必要な人件費である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	改良区に属していれば受益機会は公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種の補助金の削減が行われている中、土地改良区への補助金も既にも実施されているところであり、各々の運営を考えると、これ以上の補助金の削減は厳しく、現状は何とか適切に運営されているところである。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 土地改良区への運営支援の実施で各区域内農業用施設の維持管理等が適切に行なわれ、安定した農業経営が期待できる。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 土地改良事業の円滑な運営と財産管理の健全化を図るため土地改良区を支援していく。

事務事業コード	743116	事務事業名	中山間ふるさと・水と土保全基金管理事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	管理グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2411
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 5 年度~)
	項	1	農業費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	農地費	根拠法令・条例等	霧島市中山間ふるさと・水と土保全基金条例
コード	743116				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
中山間地域で土地改良施設(農道及び用排水路等)の機能を適正に発揮していくための集落共同活動を支援するため、基金を設立。基金を運用して基金利益で清掃活動や環境保全の研修等の経費や基金運用に必要な経費に充てる。			平成23年度計画				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	活動回数	回	0	0			
イ							
ウ							
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	集落共同活動団体	団体数	未把握	未把握			
イ	農地	農地面積	ha	8,400	8,400		
ウ							
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	農業用施設の能力が適正に発揮される	参加人員	人	0	0		
イ	市民等の環境保全に対する意識を高める	対象農地面積	ha	0	0		
ウ							
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	農業生産基盤の整備率	%	51.3	52.1	51.5	52.0
イ							

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?	
予算額	当初予算額	145	181	土地改良施設(農道及び用排水路)の機能を適正に発揮させるための集落共同活動を支援するため設置された。旧市町で設置時期が異なるが平成5、6年からである。	
	補正予算	0			
	予算合計	145	181		
決算額	国庫補助金	0		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0		特になし	
	その他	145			
	一般財源	0			
支出合計	145				

事務事業コード	743116	事務事業名	中山間ふるさと・水と土保全基金管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金	145		145	181		181			
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	145		145	181		181			

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	145		145	181		181		
一般財源									
計	145		145	181		181			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	145千円		
	補正予算			
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	145千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
基金利息	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	743116	事務事業名	中山間ふるさと・水と土保全基金管理事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	細かな手入れにより農業用施設の機能が適正に発揮され、効果的な生産を行なうことができ生産基盤の機能確保の上で政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の保全、耕作放棄の増加や農業従事者の高齢化により施設の維持管理が難しくなっており、市が支援することは妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	中山間地域において耕作放棄地や高齢化が顕著であるため対象・意図については妥当。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	金利動向により運用益があがるので、現在においては成果向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	高齢化が益々進むと思われる、集落の維持管理が難しくなるため必要な事業。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在の基金運用益が少ないため、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	活動支援のための最低限の経理的な事務だけしか行っていない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在は活動支援を行なえない状況にある。支援可能になった場合の該当地区の検討が必要となる。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある		金利動向によって運用益に変動があるので現状維持しながら活用策を見出していきたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 中山間地域では、過疎化・高齢化が進行し土地改良施設(農道及び用排水路等)の地域資源を共同活動の取組みの中で管理せざるを得ないので必要に応じて集落活動経費を支援していく。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 中山間地域の集落活動を継続的に支援していく。

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 25 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・ 条例等	なし
	目	6	農道及び用排水路整備事業費		
コード	743212				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
豊かな住みよい農業農村を目指すことを目的とした本事業を活用し、国庫補助及び県補助により市の財源負担の軽減を図りながら、地域住民からの要望を勘案し、効率的な生産基盤等の整備を行うために、平成17年度の事業採択により開始した。	農村環境基盤の整備を行う本事業の導入を他の地域住民からも強く要望されている。	

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 農業用施設	農業用施設の機能保全	効率的な生産を行う基盤が整う。
イ 市民	利用者の安全確保	市民の安全が図られる。

全体計画 (H 17 ~ H 25)	平成21年度までの実施状況	平成22年度 実績	平成23年度 計画
農業用排水施設 10地区 農道整備 4地区 農業集落道 4地区 自然環境・生態系 4地区 営農飲雑用水 1地区 市町村創造型整備 1地区	農業用排水施設 8地区L=1612m 農道整備 3地区L=725m 農業集落道 2地区L=1061m 自然環境・生態系3地区L=1594m 測量設計委託 21地区 用地補償一式	農業用水施設 1地区L=100m 農道整備 1地区L=112m 農業集落道 2地区L=315.6m 自然環境・生態系1地区L=30.3m 用地補償 一式	農業用排水施設1地区L=100m 農道整備 1地区L=112m 農業集落道 2地区L=315.6m 自然環境・生態系1地区L=30.3m 用地補償 一式
平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度 計画	平成27年度以降 計画
農業用排水施設3地区L=385m 農道整備 1地区L=315m 農業集落道 1地区L=314m 自然環境・生態系1地区L=127m 用地補償 一式			

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 17 ~ H 25)			
	単独	補助	合計
国		383,800	383,800
県		137,385	137,385
地方債		239,340	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		239,340	239,340
その他			
一般財源		7,075	7,075
計		767,600	767,600

	H 22年度 決算 (A)	H 23年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	40,000	80,000	40,000	100% 増
補正予算額			---	---
予算合計	40,000	80,000	40,000	100% 増
国庫補助金	20,000	40,000	20,000	100% 増
県支出金	7,200	14,400	7,200	100% 増
地方債	12,800	25,600	12,800	100% 増
その他				
一般財源				
支出合計	40,000	80,000	40,000	100% 増

単位:千円

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H 17 ~ H 25)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	農業用排水施設 10地区 農道整備 4地区 農業集落道 4地区 自然環境・生態系 4地区 営農飲雑用水 1地区 市町村創造型整備 1地区			農業用排水施設 8地区L=1612m 農道整備 3地区L=725m 農業集落道 2地区L=1061m 自然環境・生態系3地区L=1594m 測量設計委託 21地区 用地補償一式			農業用排水施設 1地区L=100m 農道整備 1地区L=112m 農業集落道 2地区L=315.6m 自然環境・生態系1地区L=30.3m 用地補償 一式			農業用排水施設1地区L=100m 農道整備 1地区L=112m 農業集落道 2地区L=315.6m 自然環境・生態系1地区L=30.3m 用地補償 一式		
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費		19,575	19,575		19,575	19,575						
消耗品費		19,575	19,575		19,575	19,575						
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料		74,854	74,854		74,854	74,854						
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		607,164	607,164		300,424	300,424		33,969	33,969		73,000	73,000
16 原材料費												
17 公有財産購入費		43,408	43,408		26,477	26,477		6,031	6,031		4,900	4,900
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金		22,599	22,599		18,020	18,020					2,100	2,100
23 償還金・利息・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計		767,600	767,600		439,350	439,350		40,000	40,000		80,000	80,000
財源内訳	国	383,800	383,800		219,675	219,675		20,000	20,000		40,000	40,000
	県	137,385	137,385		78,300	78,300		7,200	7,200		14,400	14,400
	地方債	239,340	239,340		134,300	134,300		12,800	12,800		25,600	25,600
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債	239,340	239,340		134,300	134,300		12,800	12,800		25,600	25,600
	その他											
	一般財源	7,075	7,075		7,075	7,075						
計	767,600	767,600		439,350	439,350		40,000	40,000		80,000	80,000	
補助率	国	—		—								
補助基本額	県	—		—								

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	40,000
補正予算	
合計	40,000

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

単位:千円

事務事業 コード	743212	事務 事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区 分	平成24年度 (計画)			平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	農業用排水施設3地区L=385m 農道整備 1地区L=315m 農業集落道 1地区L=314m 自然環境・生態系1地区L=127m 用地補償 一式											
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		85,721	85,721		114,050	114,050						
16 原材料費												
17 公有財産購入費		6,000	6,000									
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金		2,479	2,479									
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計		94,200	94,200		114,050	114,050						
財源内訳	国	47,100	47,100		57,025	57,025						
	県	16,956	16,956		20,529	20,529						
	地方債	30,144	30,144		36,496	36,496						
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債	30,144	30,144		36,496	36,496						
	その他											
	一般財源											
計		94,200	94,200		114,050	114,050						
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	743212	事務事業名	農村振興総合整備事業(村づくり交付金)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の機能保全が図られることで、効率的な生産基盤が整備される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設の整備・維持管理は市が行うべき業務であるため、公共関与は妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	当初計画に基づいて事業を行っており、事業は順調である。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	基盤整備が遅れることにより、営農意欲が損なわれ、農業生産が低下する。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公共事業として適切であり、コスト削減も加味された事業であるため、削減余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計については一部委託を行っているが、事務手続き及び工事に伴う設計管理委託をすべて最小限の職員で行っているため、削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	要望箇所及び施設の老朽化の著しい箇所等を地区ごとに抽出し、市全体の緊急順位を勘案したうえで、国への事業採択を要望しているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	市民からの事業に対する早期着工・早期完成の要望が多いが、一部用地取得が難航している。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	用地の早期取得に向けた取り組みを強化し、事業の完成を目指す。

事務事業コード	743121	事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	6	農林水産業費		<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	1	農業費	根拠法令・条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(H19 ~ H23)
	目	5	農地費		
コード	743121				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

食糧の安定供給、農業の多面的機能を支えてきた農地・農業用水等を地域ぐるみで保全する。県内を取りまとめる地域協議会に国が事業費の1/2を、県と市町村が1/4を支出する。市と協定を結んだ活動組織は水路沿いの草刈りや花の植付け、施設の劣化・破損等の点検及び補修などを行う計画を作り、年次的に共同活動を行い、協議会より支援交付金を受ける。適用を受けるのは農振農用地に限られ、交付金は水田10a当たり4,400円、畑10a当たり2,800円である。市は活動組織に対し、計画に定められた活動を行っているか指導及び確認並びに書類等の審査を行う。

補助金・負担金の交付先	活動組織	補助金の対象経費					
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	参加する活動組織数	団体	14	14	14		
イ	指導・確認回数	回	70	70	60		
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	農用地	対象農用地の面積	ha	1,120	1,120	1,120	
イ	農業用施設	水路・農道の延長	km	550	550	550	
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	農地や農業用施設を保全する	協定区域の農業用施設に関する苦情件数	件	50	45	40	
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	効率的な生産を行う基盤が整う	農業用生産基盤の整備率	%	51.3	52.1	51.5	52.0
イ							

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
当初予算額	10,203	9,988			
補正予算					
予算合計	10,203	9,988	集落の高齢化や混住化が進行し、農地や農業用水などの資源を守る地域のまとまりが弱くなっているため、農業者だけでなく地域住民が参加する団体を作り、農村の自然や景観などを守る地域共同活動の発展を目的として平成19年度から始まった。	受益者管理による遊休農地の解消、補修が必要な農業用施設についても改修され、維持補修時に必要である技術研修等も行い今後も受益者による維持管理の徹底が期待される。また、地元イベントとの連携により農家、地域住民、学校が一体となり地域活性化に繋がっている。	
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	9,988			
支出合計	9,988	事業により小規模な補修箇所は改修されたが、受益者や地域住民では対応しきれない箇所については今後も市と協力して維持管理を続けていきたい。			

事務事業コード	743121	事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	農地・水環境保全協議会									補助金	39,951	補助金	39,951	補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計									39,951		39,951		合計	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													合計	
計										補助金負担金合計	39,951	補助金負担金合計	39,951	補助金負担金合計	
										自主財源合計		自主財源合計		自主財源合計	
										自主財源率		自主財源率		自主財源率	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1	鹿児島県農業農村共生活動支援協議会	負担金額	9,988	9,988					●
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計	9,988	9,988					1

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	10,203
補正予算	
合計	10,203

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	743121	事務事業名	農地・水・環境保全向上対策事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農地や農業用施設の保全を図ることにより、効果的な生産が出来る。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農家の高齢化や担い手の減少により、農業用施設の維持管理が困難となってきた。また、これらの施設は、多面的機能を持つ社会共通資本であるため、社会全体で保全する必要があり公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は協定を締結した地域であり、意図についても地域住民の活動により、農村環境が保たれるため妥当。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	事業活動自体がほとんどボランティアで行われている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農業用施設の維持管理・保全が適切に行われなくなり、施設の老朽化が進み、多くの費用が必要となる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在は農地・水・環境保全向上対策事業に対し、最小限必要な事務を行っているため、削減余地がない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	活動組織への助言や指導、さらに書類等の審査があり、事業に対し最低限必要な事務である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の推進にあたり、市全体の普及活動を行った。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業実施により施設の修繕箇所や災害の減少、また受益者による維持管理の意識が定着してきており苦情等の減少にも繋がっている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
22年度に引き続き受益者管理による遊休農地の解消、農業用施設の維持管理を徹底する。	遊休農地の解消や農業用施設の補修による施設の長寿命化で、今後受益者や地域が主体となった維持管理を行い、地域住民や学校が一体となり農地・農業用施設の保全に努める。

事務事業コード	743213	事務事業名	農道・用排水路整備事業	担当部	農林水産部	
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課	
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ	
基本事業名	2	生産基盤の整備		電話番号	54-5111	
				内線番号	2421	
予算科目	会計	一般会計				
	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	6 農道及び用排水路整備事業費
				コード	743213	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
農業用施設 市民	農業用施設の機能保全 利用者の安全確保	利 効率的な生産を行うための、基盤整備が図られる。

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	国分中央地区	新規	水路改良L=8m				
		国分		1,695			
2	国分台明寺地区	新規	水路改良L=96m				
		国分		2,205			
3	国分上之段地区	新規	水路改良L=43m				
		国分		1,911			
4	隼人松永地区	新規	道路改良L=32m				
		隼人		1,827			
5	隼人見次地区	新規	水路改良L=40m				
		隼人		3,864			
6	隼人島津新田地区	新規	潮遊池浚渫				
		隼人		10,658			
7	溝辺西鍋地区	新規	水路改良L=20m				
		溝辺		630			
8	溝辺西鍋地区	新規	水路改良L=20m				
		溝辺		1,013			
9	横川川原地区	新規	水路改良L=91.8m				
		横川		1,176			
10	牧園西脇地区	新規	水路改良L=10m				
		牧園		1,654			

<地区別>

継続 = 0 新規 = 18 継続 = 0 新規 = 19

		H 22	H 23	<全体事業費>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	5	3		事業費	80,995	40,300	▲ 40,695
溝辺	3	3		事務費			0
横川	1	2		合計	18路線 80,995	17路線 40,300	▲ 1 路線 ▲ 40,695
牧園	2	4		平成22年度実績の全体事業費の計と財源内訳が一致しません！			
霧島	1	3		<財源内訳>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人	3	2		国庫補助金			0
福山	3	2		県支出金			0
合計	18	19		地方債			0
				その他			0
				一般財源	80,995	40,300	▲ 40,695
				合計	80,995	40,300	▲ 40,695

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の利用者から、農業用施設の未整備箇所や老朽化による修繕要望が多く寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見
---	------------------------

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	牧園稼原地区	新規	道路改良L=236m				
		牧園	18,407				
12	福山山之口地区	新規	道路改良L=685m				
		福山	8,463				
13	福山山之口地区	新規	道路改良L=358m				
		福山	4,463				
14	福山山之口地区	新規	道路舗装A=2890㎡				
		福山	6,563				
15	国分見帰地区			新規	水路改良L=45m		
				国分	2,800		
16	溝辺竹山地区			新規	水路改良L=60m		
				溝辺	1,500		
17	横川菅牟田地区			新規	道路舗装A=140m		
				横川	2,700		
18	福山八谷地区			新規	道路舗装A=300m		
				福山	3,000		
19	国分湊地区			新規	水路改良L=8m		
				国分	1,500		
20	国分重久地区			新規	水路改良L=60m		
				国分	1,700		
21	隼人内山田地区			新規	安全施設工L=160m		
				隼人	1,300		
22	溝辺小屋原地区			新規	道路舗装A=980㎡		
				溝辺	2,700		
23	溝辺竹子木場地区			新規	水路改良L=88m		
				溝辺	2,400		
24	横川横伏敷地区			新規	水路改良L=81m		
				横川	2,200		
25	牧園後谷山地区			新規	水路改良L=11m		
				牧園	1,600		
26	牧園越地区			新規	水路改良L=160m		
				牧園	3,800		
27	霧島王子原地区			新規	道路改良L=60m		
				霧島	2,000		
28	霧島下脇地区			新規	水路改良L=50m		
				霧島	1,000		
29	福山萩塚地区			新規	道路改良L=250m		
				福山	2,000		
30	市内一円	新規	農道維持委託				
		国分	9,818				
31	市内一円	新規	国道跨道橋概略点検				
		国分	650				
32	溝辺現王・栗下地区	新規	計画書作成				
		溝辺	3,000				
33	霧島段之平地区	新規	事業計画書作成				
		霧島	3,000				
34	霧島田口地区			新規	事業計画書作成		
				霧島	3,500		
35	霧島永水地区			新規	事業計画書作成		
				牧園	1,000		

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
36	隼人内村地区			新規	測量設計委託		
				隼人	1,500		
37	牧園今村地区			新規	測量設計委託		
				牧園	2,100		
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							

事務事業コード	743213	事務事業名	農道・用排水路整備事業	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	修繕や改良を行うことで、農業用施設の機能が向上し、効率的な生産基盤が整備される。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業用施設は市が保有する施設であり、農業を行うために必要な施設であることから、修繕・整備等を市で行わなければならない。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	農家や地元住民の負担が大きくなり、安定した営農が出来なくなる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小限の費用で最大限の成果をだしているため、削減余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	苦情処理や要望への対応、さらに事業の設計や事業費の積算等を最小限の人員で遂行しているため、削減余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内全域での要望箇所及び施設の老朽化等を勘案し、緊急順位を決めて事業を実施しているので、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路や用排水路等の緊急性や必要性のある農業用施設の整備を行い、機能向上が図られた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	老朽化に伴う農業用施設の改良要望は年々増加傾向にあることから、現状をより精査しながら、今後も整備を進めていく。

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
政策名	3	活力ある産業のまちづくり		担当課	耕地課
施策名	1	農・林・水産業の振興		グループ	耕地グループ
基本事業名	7	観光農林漁業の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2421
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 25 年度
	款	6	農林水産業費		
	項	1	農業費	根拠法令・ 条例等	なし
	目	5	農地費		
	コード	743125			
関連計画	89				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
霧島の玄関口として、体験農園や観光農園を利用できる日常的な緑とのふれあい空間の整備の一環とし、平成12年度から緑地公園整備として県営中山間地域総合整備事業(KAM霧島南部地区)で計画し、事業の実施を行ってきた。緑地公園が完成することにより、スポーツ・レクリエーションを通し地域住民と都市との交流促進が図られることから、公園整備を行う。	野球・サッカー等の地域スポーツ協議会関係者から「チーム数が多い中で練習場が少ない」「霧島市圏で県大会レベル以上の大会を一箇所で開催できる様な運動公園を」との要望がある。また、地域住民の憩いの場として、早期完成が望まれている。	

④ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	緑地公園として利用する	農林漁業を観光資源として利用する
イ		

全体計画 (H 17 ~ H 25)	平成21年度までの実施状況	平成22年度 実績	平成23年度 計画
春山緑地公園整備 A=3.8ha	実施設計 A=3.8ha 造成敷地整備 園路広場整備(路床・縁石) 運動施設整備(バックネット基礎)	施設・電気・給水設計業務委託 園路広場整備(縁石・側溝) 運動施設整備(バックネット) グラウンド整備	グラウンド整備 サブグラウンド用地買収
平成24年度 計画	平成25年度 計画	平成26年度 計画	平成27年度以降 計画
園路広場整備 電気施設整備 給水施設整備 管理施設整備 便益施設整備	サブグラウンド整備 修景施設整備 管理施設整備		

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 17 ~ H 25)			
	単独	補助	合計
国			
県			
地方債	439,200		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	439,200		439,200
その他			
一般財源	27,238		27,238
計	466,438		466,438

	H 22年度 決算(A)	H 23年度 計画(B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	89,000	105,876	16,876	19%増
補正予算額			---	---
予算合計	89,000	105,876	16,876	19%増
国庫補助金				
県支出金				
地方債	84,500	100,500	16,000	19%増
その他				
一般財源	4,500	5,376	876	19%増
支出合計	89,000	105,876	16,876	19%増

単位:千円

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区分	全体計画 (H17 ~ H25)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	春山緑地公園整備 A=3.8ha			実施設計 A=3.8ha 造成敷地整備 園路広場整備(路床・緑石) 運動施設整備(バックネット基礎)			施設・電気・給水設計業務委託 園路広場整備(緑石・側溝) 運動施設整備(バックネット) グラウンド整備			グラウンド整備 サブグラウンド用地買収			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	8,505		8,505	3,885		3,885	4,620		4,620				
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	415,777		415,777	70,000		70,000	58,100		58,100	90,000		90,000	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	15,876		15,876							15,876		15,876	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金	26,280		26,280				26,280		26,280				
計	466,438		466,438	73,885		73,885	89,000		89,000	105,876		105,876	
財源内訳	国												
	県												
	地方債	439,200		439,200	66,500		66,500	84,500		84,500	100,500	100,500	
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	439,200		439,200	66,500		66,500	84,500		84,500	100,500	100,500	
	その他												
一般財源	27,238		27,238	7,385		7,385	4,500		4,500	5,376	5,376		
計	466,438		466,438	73,885		73,885	89,000		89,000	105,876	105,876		
補助率	国	—		—									
	県	—		—									
補助基本額		—		—									

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	89,000
補正予算	
合計	89,000

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

単位:千円

事務事業 コード	743125	事務 事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

区 分	平成24年度 (計画)			平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	園路広場整備 電気施設整備 給水施設整備 管理施設整備 便益施設整備			サブグラウンド整備 修景施設整備 管理施設整備								
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費	137,677		137,677	60,000		60,000						
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計	137,677		137,677	60,000		60,000						
財源内訳	国											
	県											
	地方債	130,700		130,700	57,000		57,000					
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債	130,700		130,700	57,000		57,000					
	その他											
	一般財源	6,977		6,977	3,000		3,000					
計	137,677		137,677	60,000		60,000						
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	743125	事務事業名	緑地公園整備事業(春山地区)	担当部	農林水産部
				担当課	耕地課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公園整備を行う事により、都市との交流が促進され、観光農園の来客数も増えることから、農林漁業を観光資源として利用することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	農業農村地域の活性化を図るため、都市との交流基盤施設である公園整備を市が行う必要がある。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	地元住民及び関係市民から、早期完成が望まれている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	交流基盤整備である公園整備であることから、廃止すれば農業農村地域の活性化に影響がある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	盛土材に他工事による発生土を利用するなど、最大限のコスト削減に取り組んでいることから、以降削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員が行う設計積算業務等、最小限の人員で行っており、削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	すべての市民が利用できることから、受益機会は均等であり、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民からの早期完成が望まれていることから、23年度一部供用を目指している。今後も予算額により内容変更等を伴うが、完成年度を目標に整備を進めていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	公園整備については、用途に応じた機能や施設の充実を十分に図る必要があり、今後も事業目的に沿った整備を十分に協議しながら進めていく。